



社会福祉法人 恩賜財団

12月号

愛知県同胞援護会だより

特別養護老人ホーム春緑苑 第221号
特別養護老人ホームとよた苑 第138号
身体障害者更生支援施設春日苑 第184号

知的障害者援護施設サンホーム豊田 第81号
養護老人ホーム若草苑 第48号
特別養護老人ホーム第2春緑苑 第10号

平成18年12月15日発行



とよた苑デイサービスセンター利用者共同作品

目次

春日井・豊田グループ.....P.2	とよた苑.....P.9~11
春緑苑.....P.3~5	若草苑.....P.12
第2春緑苑.....P.6~7	サンホーム豊田.....P.13
春日苑.....P.8	春日井・豊田グループ.....P.14~16

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>
e-mail: douen@mc.ccnw.ne.jp

法人事務局

評議員の改選が行われました

11月16日(木)に行われた第172回理事会、第32回評議員会において、評議員の任期満了に伴う改選が行われました。第1回評議員会から就任されていた中山弘志評議員が今回の任期満了に伴い辞任され、左記のとおり承認されました。

【新評議員】

倉田 俊 中地 彦
 田井 俊 井内 博
 安井 俊 内井 博
 今井 俊 内井 博
 山内 俊 内井 博
 濱口 俊 内井 博
 中根 俊 内井 博
 宇美 俊 内井 博
 浦野 俊 内井 博
 浅柳 俊 内井 博
 澤見 俊 内井 博
 田木 俊 内井 博
 山本 俊 内井 博
 山田 俊 内井 博

任期満了
 平成19年1月10日
 平成21年1月9日

「ワーカー鷹来」 来春開設に向けて準備中!

11月16日(木)の理事会・評議員会において、施設の名称が「ワーカー鷹来」に決定し、開設に向けて着々と準備が進んでおります。ワーカー鷹来は、障害者自立支援法に基づき障害者通所施設であり、就労継続支援事業を実施いた



▲施設イメージ図

します。障害を持った方が楽しく働ける場所として、地域に貢献していきたいと考えております。

「利用ご希望の 皆さまへ」

サービスに関するご相談のある方、利用をご希望される方は、お気軽にお問い合わせください。
 (利用対象者・障害者認定区分をお持ちの方)

【お問い合わせ先】

ワーカー鷹来準備室
 電話 (0568)88-8302

おめでたい! 職員結婚ラッシュ

平成18年秋、法人内では、結婚する職員が多く、幸せの風が吹いています。皆さん、未永く幸せな家庭を築き、これから法人で頑張ってください。



☆結婚した職員☆

- 渡辺健司 (春日井支店センター)
- 倉知孝行 (春日井支店センター)
- 奥村裕輔 (サンホーム春日井)
- 近藤(旧姓成世)小夜子 (サンホーム春日井)
- 本田洋基 (法人事務局)

メール love@aduen.or.jp
 担当 井上、才川



▲ご案内図 (春日井市鷹来町字九内4888-1)

春緑苑

大きなエビフライに びっくり!!

11月15日(水)、南知多で美味しいものを食べようということで、



▼新鮮な海の幸にご満腹!

▲えびせんべいの里にて試食をしながらお土産選びです

利用者さん有志6名で出かけました。まずは今回の旅のメイン、お待ちかねの「まるは食堂」へ。きれいな海を眺めながら大きなエビフライやシャコをべろりと召し上がり、ビールやお酒片手に「美味しいね。」と満面の笑みでした。

お腹が一杯になった後は、市場「魚太郎」や「えびせんべいの里」でお買物です。試食をしながら、「どれにしようかねえ。」と迷いつつも、つくたにやえびせんべいを買われていました。

車で片道2時間と少し遠出でしたが、よい気分転換になりました。

また遊びにきてね

11月は福祉体験学習ということで、2日(木)・9日(木)・17日(金)に坂下中学校13名、14日は石尾台中学校10名、16日は知多中学校9名と多くの生徒さんが来苑されました。

利用者さんにとって生徒さんはお孫さんやひまごさんと同じくらいの年齢ということで、とても優しい笑顔で楽しそうに話をしたり、折り紙をされていた。石尾台中学校さんはリコーダーやハンドベルの演奏を披露してくださり、感動して涙をこぼされている方も

春緑苑行事アルバム



▲11月31日(金) 春和荘ふれあいまつりに参加 皆さん演奏に見入っています



▲折り紙やおはじき、あやとり、ペーパークラフト、懐かしい遊びがいっぱい!

♪春の歌詞カードと♪歌や楽器演奏に拍手喝采!

QC大会で敢闘・感動賞受賞

11月29日(水)、30日(木)、東京で開催された第17回「福祉QC」全国発表人会に特春春緑苑から参加。テーマ「安全な環境を整えよう」で発表し、見事敢闘賞・感動賞を受賞しました。



▲より良いサービス提供を目指して取り組んだQC活動成果の発表です

いただきました

12月5日(火)、「らんの会」代表成田為子様からタオルを多数いただきました。毎年ご寄贈いただき、ありがとうございます。

12月の行事予定

- 12月15日(金) 法人QC大会
- 12月16日(土) 家族ボランティア
- 12月21日(木) 月例祭
- 12月22日(金) クリスマス会「演芸会」
- 12月23日(土) クリスマス会「サンタコース慰問・会食」
- 12月26日(火) 誕生会
- 12月28日(木) 仕事納め
- 1月1日(金) 初詣

新任職員紹介

(12月1日付)



倉護 幸美

地域包括支援センター

12月の福祉講座のお知らせ

「高齢期のうつ病のお話」

～良い高齢期を送るために～

【日時】12月22日(金)14時～15時30分

【講師】地域包括支援センター春緑苑

太田美幸

【会場】東部市民センター 第2集会室

【定員】45名

(定員になり次第申込み締め切りになります)

【参加費】無料

【申し込み先】

電話 (0568)88-8303

FAX (0568)88-7938

メール chiikihokatsu@douen.or.jp

担当 水野、太田、加藤



▶11月17日全宅の講座では皆さんが創作防体操を行いました



◀いろいろな作品ができあがっています



デイサービス
手糸を使って創意工夫

認知型デイサービスでは、作業療法として、手糸を使ったメニューをいくつかが用意しています。

居宅介護支援事業所

退院に向けて

入院当初、ベッドに腰かけてもバランスを崩して後ろに倒れてしまいそうでした。状態ではなかったAさんは、「自宅で生活がしたい」と、辛いリハビリを頑張られ、杖での歩行ができるまでになりました。

利用者の皆さんにはラブリッドツグ、毛糸のタワシなどの中から好きな物に取り組んでいただいております。普段はお話好きな方も口をつくんで編むことに集中される姿に、新たな一面を見る事ができます。

福祉用具貸与事業所

活動的で幸せなシニアライフを
トレーニングでサポート

高齢者がいつまでもイキイキと活動的な毎日を送るには、運動能力の維持が不可欠です。筋力や



▶これらの道具を使って、カンタントレーニング

ホームヘルプサービス
夢はピアノリサイタル

今年の春、出会った頃のAさんは寝たきりで大好きなピアノを横目で見る状態でした。



▶好きな曲がまた弾けます！

何人かのヘルパーが入らせていた。大きくはなり、おしゃべりを楽しもううちに、Aさんにも意欲がでてきました。そして、曲がった指を伸ばそうと手浴を始めて努力した結果、ピアノが弾けるまでになりました。今度はピアノリサイタルを聞きに行くのを目標に、一人で外出できるように、リハビリに挑むわれ励まれています。

バランス感覚、柔軟性などの運動能力が低下すると、つまずいたり転んだりしやすくなります。そこで、高齢者の日常に取り入れたいのが、体操や筋力トレーニングです。いつでも気軽にできるトレーニングは心の健康にも効果的です。今、注目を浴びている「介護予防」の観点からも家庭でひとりでもできるトレーニングに挑戦してはいかがでしょうか。

シヨートステイ

手系の雪だるま



11月初旬、冬の飾りつけにと、利用者さん同士で、毛糸の雪だるまを作りました。作り始めには、「不器用だから、できるかしら？」との言葉も聞きましたが、雪だるまの目や口などを接着剤でつけるときには、「バランスを考えないとね！」と真剣なまなざしで作られ、見事に完成しました。

シヨートステイの廊下の壁やテーブルには、利用者さんの作品が飾られ、安らぎの空間になっています。

訪問入浴サービス

入浴後は暖かいお部屋に

冬本番を迎え、寒さも厳しい季節になってきました。訪問入浴を利用する際、入浴する前に、十分にお部屋を暖めてくださるようお願いいたします。特に入浴後は、十分に体を暖めても、お部屋が寒いと風邪をひいてしまうことがあります。ゆっくりと入浴をしていた

グループホーム

秋晴れの

アクアトぎふに遊ぶ

岐阜県の川島にある岐阜県世界淡水魚園水族館（アクアトぎふ）へ、11月6日（月）と9日（木）に、利用者さん18名全員で行ってきました。

水族館では、ソウガメの出迎えに皆さんびっくりされ、「大きいね。」「草を食べるんだね。」と声がかれました。中へ入っていくと水槽の中を心地良さそうに泳ぎ回る様々な魚達を目の当たりに見て、皆さん大いに楽しめました。館内のレストランで昼食の後、屋外施設のアシカシコーを見て、アシカの芸に皆さん拍手喝采して喜ばれていました。

来年の春

も心に残る行楽に出かけたかと思えます。



だき、快適に部屋で休んでいたことが大切ですよ。

私たちも入浴を楽しみにしている方が、より快適に利用していただけるように心がけていきたいと思えます。

ケアハウス香緑苑

四季桜観賞ツアー 赤黄薄ピンクの山々に 思わずうっとり

秋晴れとなった11月17日（金）、総勢11名で連日新聞をにぎわす豊田市旧小原村の四季桜、紅葉観賞に行ってきました。

赤もみじにいちようの黄、そして四季桜の薄ピンクといった色鮮やかなコラボレーションに「同思わず「ワアッ！きれいだ！」と歓声をあげるほど！」「当地の名物、熱々のますの塩焼きや、口の周りの

どの菊もすばらしく
咲きました！

ケアハウス菊花展

ケアハウス 菊花展



味噌もなんのその、香ばしい五平餅も2本ベロツといたたきました。両手いっぱいのお土産を抱え、大満足の1日となりました。



晴天の青空に♪
みと薄ピンクが
よく映えます！



▲皆さんとってもいい笑顔☆



▲「こんなにアツかい五平餅」まさに食欲の秋！

●12・1月の行事予定

- 12月22日(金) ゆず湯
- 12月23日(土) クリスマス会
- 12月26日(火) 誕生会
- 1月1日(月) 春緑神宮初詣
- 1月1日(月)〜3日(水) お正月あそび

第2春緑苑

「握り寿司パーティー」 華やかに開催



▲皆さんの前で
寿司を握っていただきました
作りたての寿司は最高!

▲どわにしようか迷うなあ...

利用者さんの気分高揚も考慮に入れ、各フロアー毎に口を決め「握り寿司パーティー」を開催しました。11月9日(木)は4丁目、11日(火)は3丁目、そして2丁目は20日(月)に開催しました。

寿司パーティーを心待ちにしておられた利用者さんの中には、外出の予定を取りやめられたり、「たくさん食べるから多めに用意しておいてね。」とおっしゃる方もおられ、皆さん本当に楽しみにしていらっしやいました。

▲今日はお腹いっぱいお寿司を食べます



利用者さんがオーダーした寿司ネタに、「あいよっ!」と掛け声宜しく厨房の板前さんが提供する様子は、まさしく街の寿司屋で食す風情そのものです。「たくさん食べたよ。おいしかったあ。」との声を、各フロアーの利用者さんからいただくことができました。さあ、次なる企画は何パーティー??ガランバルソ!!

満腹になった後は、皆さんがマシクや歌を披露して楽しんでました



春よ来い、早く来い♪

毎週火曜日に来ていただいている「下津ボランテニア」の皆さんと職員で11月14日(火)に、チューリップの球根を植えました。ボランテニアの皆さんは花を育てることを昔からされているため、手際よく、また職員に対しても的確なアドバイスをしていただきました。

ボランテニアの皆さんのご協力で思った以上に作業がはかどり、短時間で終わりました。ご協力ありがとうございました。春になりました。

てきれいな花が咲くことを楽しみにしています。



▲きれいな花が咲きますように。

冬に備えて インフルエンザ予防接種



▲いくつになっても打つ瞬間は怖いです
皆さんががんばりました

11月8日(水)と11月29日(水)の2回、インフルエンザの予防接種を利用者さん、職員ともに行いました。1回目は体調の良くない利用者さんを除いた96名、2回目は91名行いました。

利用者の皆さんは順番をドキドキしながら待っておられ、「注射はいくつになっても嫌なもんだね。」とおっしゃっていました。それでも、終わるとほっとして笑顔をみせてくださいました。

痛い注射を我慢されたので、利用者の皆さん全員がインフルエンザにかからず、お元気にこの冬を過ごしていただけるようにしたいです。

デイサービス

より良いサービスを目指して

デイサービスには介護度が軽度の方から重度の方まで様々な利用者さんが来られます。

そこで、第2春緑苑デイサービスでは、社会との接点を持ちつつ、QOL（生活の質）を高めていただくためのいろいろなプログラムを実施しています。

その一つに、回想法があります。回想法ではビデオで昔懐かしい風景や、生活の場面を見ながら、利用者さんにいろいろなお話をしていただきます。ビデオが始まると、皆さん一つひとつの場面に集中され、熱心に両面を見られています。お話の中では、ご自分の過去の体験や、現在の生活などにも触れら



▲ビデオを見ながら
思い出話に花が咲きます。

れ、自然と職員とのやりとりや利用者さん同士の会話が発展していきます。

社会との交流を増やして行くためにも、全体で行うプログラムにも積極的に取り組んでいきます。

また、職員の介護技術向上のため、利用者さんお一人おひとりに応じた介護方法の勉強会も行っています。

今後とも顧客満足度の向上を目指していきます。

すてきな短歌のご紹介

短歌を作るのが趣味とおっしゃる、岡島興恵さん。最近の作品をご紹介します。

口笛を吹くこと叶わぬ我なれど
吹きたくなる程 デイに慣れ行く
秋深し 外はこがねの風共に
仲良く語る デイのともだちよ



▲アイリービス?新しいお友達も?え、
楽しそうな御座さん

地域包括支援センター

1月の福祉講座のご案内

「健康体操」～体力低下を防ごう～

- 【日時】 1月17日(水) 14時～15時30分
- 【講師】 名古屋徳洲会総合病院
看護師 清水 友美
- 【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター
- 【定員】 45名(定員になり次第、申し込みを締め切りとなります。)
- 【参加費】 無料
- 【申し込み先】 電話(0568)56-9166 担当 田中、青山、征矢



居宅介護支援事業所

望みを引き出す支援

夏前から脳出血で入院されていたJさんが、いよいよ退院されることになりました。

50代と若い方ではありませんが、入院前から、意欲的な発言をあまり聞いたことがありません。しかし、話好きなその方とじっくり向きあうと、言葉の端々から生活への思いやこだわりを感じ取ることができました。

私たちケアマネジャーは、これから利用者さんの会話やしぐさを観察し、注意深く訴えやサインを感じ取りながら、少しでも生きがいや楽しみを持って過ごしていただくよう支援していきたくと思っています。



●12月の行事予定

- 12月19日(火) 理美容
- 12月23日(土) クリスマス会
- 12月26日(火) 誕生会
- 12月28日(木) 仕事納め
- 1月1日(月) お正月・初詣

春日苑

1年の埃を きれいにしました

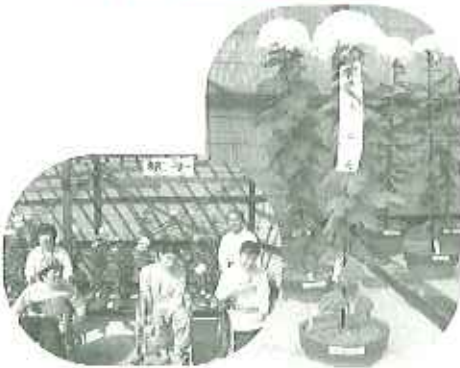


▲隅々まで磨きました

11月23日(木)に保護者の皆様と職員で大掃除を行いました。28家族36名の保護者のご協力のもと、日頃できないところを掃除することができました。
ご家族と職員総勢100人近い人で行ったため、広い苑内も1時間半という短い時間でしたがピカピカになりました。
掃除後、利用者さんが「きれいになったね。」と喜びの声をくださり、疲れも吹き飛びました。
ご協力してくださった保護者の皆様、ありがとうございます。

菊花展に出品

6月から育てていた菊を春日井市の第47回菊花大会に入所、通所の利用者さん合わせて24鉢出品しました。優秀賞を3人、奨励賞を9人が受賞し、11月6日(月)に代表して太田里花さんが表彰されました。



入居後の後は、おもちゃを交換、利用者さん力を込めて、よいしょ!



◀おいしいお餅に舌鼓



奮闘、ゴロバレー大会

11月17日(金)に東海地区ゴロバレー大会が、浜松アリーナで行われました。春日苑ラビッツは、10月12日(木)に行われた愛知県人会で、第1位の実績を引っさげての出場。

予選第2試合では、時間いっぱいまで激しい攻防を繰り広げましたが1点差で負け、2位で通過。優勝ではなく、4、6位決定戦へ。第1試合ではまたもや1点に泣きました。
結果は総合第5位。優勝はできませんでしたが、みんなとても頑張ってくれました。



▲皆さん気合を入り出場したゴロバレー大会。白熱した接戦安堵り広げました!

新任職員紹介

(12月1日付)



介護士 増田真理子

障害者生活支援センターだより

今後の障害福祉サービス

春日井市では、7月に障害福祉サービス等に関する調査が行われました。アンケート対象者の86%は自宅、9%は福祉施設、3%は病院、2%はグループホーム等を利用されています。そして「これからの生活の場をどこにしたいか」という問いに対しては、自宅76.5%、福祉施設12.0%、グループホーム等の共同生活8.6%となりました。

障害者自立支援法では、理念の一つに地域生活移行が掲げられています。しかし、この調査結果からは、当事者の方の志向は施設や共同生活にあるようです。

障害福祉の関係者にとって、今年には本当に大変な年でした。来年はもう少し穏やかに過ごさずことができますように。

【お問い合わせ】
電話(0568)88-7637
担当 多治見・渡辺

12月の行事予定

- 12月14日(木) レクの日・忘年会
- 12月15日(金) 法人QC大会
- 12月23日(土) クリスマス会
- 12月28日(木) 仕事納め

とよた苑

若菜会様の慰問

10月30日(日)に総執事名の方々いらっしやう、素晴らしい踊りを披露してくださいました。利用者さんの中には、一緒になって手を動かしている方もみえ、皆さん楽しんでおられました。



インフルエンザ予防接種

11月15日(水)、インフルエンザの予防接種が実施され、とよた苑ケアハウス利用者、職員総勢274名が予防接種を行いました。利用者の皆さんは少々緊張されながらの予防接種でしたが、これで今年もインフルエンザ知らずで元氣よく過ごしていきたいと思います!!



利用者作品展



◆習字クラブ◆



◆生花クラブ◆

2006福祉健康フェスティバルに参加!!



地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、体力測定を行いました。①血圧測定②反射神経測定③柔軟測定④片足立ち測定⑤圧力測定を、年齢による基準で判定し、今後何に注意すべきかアドバイスしました。参加して下さった方が、元氣で楽しい人生を送って下さることを願っています。

福祉用具貸与事業所

さむい冬は足元から



足元の冷える季節になりました。靴下の締付や、滑りやすい床での転倒など気になることも増える季節です。

足のむくみや腫れに関する悩みを持つ方に好評なのが、ゆるいはき口ですべり止め付の靴下です。先口購入されたYさんは、「ゴムがゆるくて楽だし、暖かいよ。」と2足目も購入され、気に入っていただけました。安全で暖かい足元対策の一つにぜひどうぞ。

ヘルパーステーション

予防介護の基本は

「一緒にやること」

今年の4月から予防介護が始まり、早半年以上が過ぎました。利用者さんと共に楽しく活動して



▶利用者さんと一緒に掃除

居宅介護支援事業所

転ばぬ先の杖

訪問先で、利用者さんが薄暗い廊下を手探りで歩いてトイレに行かれました。「大丈夫よ。よくわかっているから。」でも、足元に何が置いてあったら怖いですね。誰でも年を重ねる毎に見にくくなります。20代で見ている明るさを60代で得るには、何と32倍の明るさが必要なのだから。「転ばぬ先の杖」＝明かりをつけて安心して歩きませんか。

ケアハウス豊田

感謝をこめて収穫祭

実りの秋、今年もたくさん野菜を収穫することができました。収穫されたさつま芋、小豆、ジャガイモを使ってメニューを考え、下ごしらえから入居者さんにもお手伝いしていただきました。

11月29日(水)、日頃からお世話になっているホフンティアの方々28名を招待し、手作りのおやつでおもてなし、クラブの発表を披露しました。大変楽しいひとときを一緒に過ごすことができました。



▲入居者さんも笑顔



▲ケアハウスのどつま芋はおいしいぞ

収穫祭メニュー

- さつま芋プリン
- くず餅
- ぜんざい
- フライドポテト
- 栗湯
- しょうかん
- 日本茶
- 芋ようかん
- 抹茶
- 紅茶
- 抹茶
- コーヒ

ホフンティアの発表は緊張！

ドクッパ、クラフが、クラブが、発表しました。

ホフンティアの発表は緊張！

ホフンティアの発表は緊張！

ホフンティアの発表は緊張！

園児からの贈り物

名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園の園児から、白菜、大根、リンゴ、さつま芋、柿をいただきました。元気いっぱい園児達の訪問に、思わず顔がほころび、入居者さんも大変喜ばれました。さつそく、柿は柿ようかんを作り、白菜・大根は、ふろふき大根とお漬ものに変身！人いに喜ばれました。



▲かわいい笑顔、美味しい野菜リイター!!

生きがらびん

11月11日(土)、豊田市福祉健康フェスティバルに、1年を通してコツコツ作り上げた15種類程度の授産製品を入居者さんと販売し、ケアハウス豊田を理解していただくために参加しました。

天候不順だったため、出足は悪く心配しておりましたが、残品は僅かでありました。作品には入居者さんの思いが込められており、残さず売り切り次の作品づくりの意欲につながりたいと頑張った結果だと思えます。今後は新しい作品にも挑戦していきたいと思えます。

また、2時30分から、タレント坂上二郎氏の「脳こうそくをぶっ飛ばせ」の講演会に参加された方もいらつしやり、エンターテインメントな内容に感動されていました。

何kgでしよう??

ケアハウスの畑で収穫された、さつま芋の重さ当てる挑戦しました。一本の芋から5つのさつま芋が連なった重量は1.6kg。挑戦者21名の内ピタリ当てるは、1さん1名のみでした。一番多かった答えは、2.5kgと5名の方が予想されていました。1さんには焼芋1.6kgの目録を贈呈いたしました。



とよた苑デイサービス

紅葉狩りに出かけました!

11月26日(日)から12月2日(日)までの1週間、紅葉の美しさを楽しむために、紅葉狩りに出かけました。行き先は松平東照宮、六所神社、土滝溪谷です。紅葉の赤が鮮やかで、オレンジと緑の3色のグラデーションがとてもきれいでした。利用者さんも「うわ、キレイ!」「なんとも言えないくらい見事だわ。」と紅葉狩りを楽しみ、秋を満喫されました。



帰ってきたからも紅葉を手にとり、秋を感じていただきました

▲見事な紅葉! とってもキレイで大満足

師走句会

つまづきし石に振り向く
夕暮れに
手土産ヨ和菓子かるくて
田舎道
寺澤 和昭さん

木の実落つきい銭箱の多き寺
田舎家の薪の風呂の
まるやかさ
三島喜代子さん

冬支度火鉢の中の灰替える
那須 源吉さん

訪問入浴サービス

寒さ対策万全です

寒い冬を迎え、利用者さんの中には「寒くて風邪をひいてしまうといけないから…」という理由で訪問入浴の利用回数を減らされる方もいらっしゃいます。しかし、当事業所では訪問入浴によって風邪をひくことのないように室温や湯温、暖房器具の風向き、入浴時間などに配慮して行っていますのでご安心ください。冬であっても、身体の清潔保持のため最低週2回は入浴していただきたいと考えています。

東山デイサービス

お寿司DAY!!

11月7日(火)、8日(水)の昼食に、握り寿司をいただきました。

寿司職15年の職人さんがフロアで握り始めると、利用者さんが興味深げに周囲を取り囲み、一瞬にしてすし屋のカウンターに大変身!中には、身を乗り出し「こりゃいい!おいしそうだなあ。」とおっしゃる方もあり、皆さん寿司屋に行ったような気分を楽しみ、顔には満面の笑みを浮かべ、おいしそうに握り寿司を召し上がっていました。



▶おいしそうだなあ!

初めての消火訓練



▲見事消火!!

10月27日(金)、豊田市消防署予防課のご指導のもと、初期消火訓練を行いました。

消火器を使うのは初めてという利用者さんも、顔を強張らせながらも、一つひとつの動作を確認し、手際よく消火器を使いこなすことができました。

予防課の指導を受けての防災訓練は初めての試みでしたが、「大変勉強になった。」「貴重な体験ができた。」との声もあり、防災について考える良いきっかけとなったようでした。

第2回 若草苑文化祭

若草苑



▲養護老人ホーム利用者さん全員で「紅葉」を大合唱



▲開会の挨拶をする田中専務理事



◀「森宮アナニ」の皆様によるフラダンス手振り身振りまねして踊りました

▲泣き顔のある鼓太鼓を披露してくださった「いずも会」の皆様



▲来賓挨拶 察語院議員 土井貞樹様

◀ねごま、アイスキャンデー、鬼まんじゅうなど模擬店は大賑わがおいしかった!



テーマ



笑顔

▲養護老人ホームの笑顔の木。皆さんのスマイルが咲きました



▲皆さん笑顔で来苑。「いらっしやい」



◀若くるみの動物たちと戯れました



▲カッオウに合わせて陽気に歌いました



◀体験コーナーアブロー子作りに参加



◀個性ある豊かな作品ができました



▲皆さんで紙の駒を作りました

11月3日(金)、秋晴れに恵まれ、第2回若草苑文化祭を開催しました。
当日はクラブ紹介、利用者作品展、遊びのコーナー、体験コーナー、演芸発表、模擬店などお楽しみがいっぱい。皆さん笑顔、笑顔、笑顔。
「笑顔」は今年の若草苑のテーマでもあり、来苑してくださった方々の笑顔はとても素敵でした。文化祭にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

サンホーム豊田

地域の方と触れ合いました

11月11日(土)、豊田市市民文化会館にて福祉健康フェスティバルが行われました。

利用者さん5名が参加し、自分で作った作品を販売しました。初めは恥ずかしい様子でしたが、次第に慣れてきたのが、利用者さん自らお客さんに売り込みをされる姿も見られました。

地域の皆さんに積極的に話しかけができ、よいふれあいの場となりました。

利用者さんの絵



▶福祉健康フェスティバルに参加した戸島奈美穂さんがそのときの様子を描いてくれました。

楽しみ学んだ外注班!

11月17日(金)に、外注班の利用者さん13名と職員5名で外出をしました。まずは豊田市産業文化センターへ行き、上映されているプラネタリウムを観賞しました。プラネタリウムでは、星の由来が物語になっており、利用者さんは真剣に観ていました。感想を聞いてみると「きれいだった」と喜んでくれていました。

昼食には、スシローで回転寿司に舌鼓を打ちました。最後に、王滝渓谷へ紅葉狩りに行き、秋の風景を楽しみ、1日を締めくくりました。

がんばれグランバス

11月18日(土)、利用者さん有志4名と職員で、豊田スタジアムで行われた名古屋グランパスエイト対浦和レッズの試合を観戦しました。

最初は、応援の声の大きさに驚く座席しました。



▶ちよつと先取り紅葉狩り



に圧倒されていた利用者さんも、会場の雰囲気慣れるに従い、最後には「グランバスがんばれ!」と応援に熱中していました。大きな声をだして応援したことで、良いストレス解消にもなり、皆さん晴れ晴れとした様子でした。

生活介護事業

力を入れた作品作り

11月11日(土)の福祉健康フェスティバルに向けて、革細工や紙すきの作品作りをしました。

革細工では小銭入れ、髪ごめ、名刺入れ、コースターを作りました。型を打つ人、糸を縫う人、穴をあける人、紐を通す人とそれぞれ役割を分担して行いました。みんな協力して完成し、とても温かい作品となりました。



▲一生懸命作るぞ!皆さん熱心です

新任職員紹介

(12月1日付)



新職員 美濃浦大晃

12・1月の行事予定

- 12月23日(出) クリスマス会
- 12月28日(休) 仕事納め
- 1月2日(火) 初詣
- 1月3日(水) 福袋購入

海外研修
レポート

シニアヘルスマネジメント海外研修 老人福祉コース「イタリア・フランス」

地域包括支援センター春緑苑 主任相談員 加藤 朗

このたび、10月20日(月)から29日(水)まで、ソウエルクラブの海外研修に参加させていただきました。

イタリア、ミラノ市にて2日間、フランス、リヨン市にて2日間、ハリ市にて2日半、実質滞在7日半で、各都市において2施設ずつ、計6施設の高齢者施設の視察を行いました。その概要を報告します。

10月20日(月)、成田空港近くのホテルに集合、全国から参加者25名(男性8名と女性17名)と、福利厚生センターから団長と事務局員、そして添乗員さんの合計28名の一行が顔合せを行い、旅行の成功を誓い合いました。そして翌日21日午後出発の直行便にて、まずミラノに向けて旅立ちました。

7時間の時差で現地時間21日の午後7時頃ミラノ着、全員ぐっすり疲れてホテルに入り、最初の夜を迎えました。

◎10月22日(水)から23日(木) 視察施設1 「ジューゼッペ・ウエルディの家」(高齢者福祉施設)



「音楽家の家」居室

ミラノ市街中にある1902年設立の歴史的な建物で、作曲家ジュゼッペ・ウエルディ氏が私財を投じて設立しました。入所者は、リタイアした音楽関係の芸術家であることが条件で、現在50名の元ピアノリストや指揮者、バレリーナなどが暮らしています。

練習場やコンサートホールもありません。私たちのために、男性の老フルート奏者が、すばらしい曲



▲「音楽家の家」絵画クラブ室

を披露してくださいました。また、元音楽家のシーナさん(女性)が施設内を案内してくださいました。居室は極力利用者の思いのままに飾りつけられ、「家」である意識が強く感じられました。

○視察施設2 「ピオ・アルベルゴ・トリブルツイオ」(高齢者医療福祉施設)

こちらは、ミラノでは大規模な福祉と医療の複合施設で、1776年に貴族が貧困者と高齢者救済のために私財で設立したのがはじまりで、現在は州立の施設です。短期老人リハビリ局、長期入院保護センター、診療所、ホスピス等の多機能を持ちます。見学したりハピリ棟は、黄色い壁の明るく静かなフロアで、



▲美しく明るいホスピスのフロア

入院者に対して、配慮された環境であることが見てとれました。イタリアでも高齢化が問題となっており、国レベルでの対策が進んでいるとのことでした。

今回訪ねた国では、日本という「特養」に相当する施設はなく、外見上では、ケアハウスや養護老人ホーム、グループホームが複合

した感じの施設でした。寝たきりや重度の認知症の方は、医療が担うことになることで、医療と介護の区別が日本と異なっていることを感じました。

◎10月24日(金)から25日(土)

本日はイタリアを後にして、空路でフランスに入りました。アルプスの白い峰々を見下ろしながら、フランス第2の都市、リヨン市に向かいました。

○施設視察3 「レゾー・オメリ」(高齢者福祉施設)

市内に4か所のホームを運営する民間施設。まず本部にて説明を受けた後、要介護者の入居棟を見学しました。入居費が高い方の施設ということもあるのが、大邸宅かマンションのような調度で、食堂はレストランのようでした。裏庭には山羊が飼われ、広々としたホールには利用者の皆さんが寛いでいらっしやいました。

説明の際、経営者のセリー氏に、フランス人の「施設入所に対するイメージ」を質問したところ、「恥ではないが、喜んで入る場所ではない。独立生活が不可能になった時の選択である。」とのことでした。最期まで「個人としての誇り」を持ち続け、それが保てなくなつた時の選択であるという、生き方や文化の違いを感じました。

〈16ページへ続く〉

○施設視察4 「ティアー・デウ・ベトレート」(高齢者福祉施設)



▲(人牛の)3分の1という名の施設。レストランのような食堂

(人生の)3分の1という名を持つホームで、医療体制もあります。住宅地の中にあり、地域に受け込んだ施設でした。91名の利用者のうち、100才以上の方が3名いらっしゃるそうです。習字クラブの部屋にお邪魔したところ、手本を求められ、ペンで「日本」「フランス」「平和」などと皆で書いてさし上げるとても喜ばれ、早速多くの方が参加されて盛り上がり、楽しい思い出となりました。



▶習字クラブに飛び入り参加

フランスでは、最近まで高齢者に対する社会の関心が低かったようですが、先年の猛暑で多数の高齢者が亡くなった年から、関心が高まってきたとのことでした。



▲リオン市街(世界遺産)から眺望のマルビエール教会を見上げ

◎10月26日(日)から28日(火)

本日は移動日で、早朝にペラーシュエ駅から仏国鉄自慢の新幹線「TGV」に乗申し、時速300キロの快適な旅で、首都パリ市に向かいました。

○施設視察5 「レジデンス・ドウ・ポー・ドゥ・マルヌ」(高齢者福祉施設)

こちらは、市の郊外にある、前面ガラス張りの明るいホームでした。その意味は、地域に開かれた施設であることを示し、そのとおりに施



▶地域社会とのとけこみを表す前面ガラス張りの施設にて

設内には利用者が世話する託児所や交流のための部屋があり、地域との活発な交流が実感されました。そして、地域出身の利用者が人所した後も、今までの自分の生活を継続していけることが重視されています。元外交官のベネディクトさん(女性)が案内役を買って出てください、得意の英語で私たちとの会話を楽しませていました。

○施設視察6 「レジデンス・ドゥ・ムゼシアン」(高齢者障害福祉施設)

街中にある新しい施設で、他に4施設を持つグループが経営。今回視察した中でも、要介護者や障害者の比率の高い施設で、利用者の80%が認知症とのことでした。公共施設に比べ、レベルの高い介護を口指しているとのことでした。私たちと同様、寝たきり等の重度に移行させないことが重視されていました。

パリ市には2口半滞在し、夕方発の便にて帰国の途につき、全員無事に29日昼頃成田空港に到着し、研修終了となりました。

今回の研修で最も感じたことは、「文化」が異なることは、人としての生き方の価値もまた異なっていることでした。また、そこでの福祉のあり方の一端を見るなかで、利用者に対する職員の思いや姿勢は、日本と変わりないのだという

ことを知ることができました。この研修で福祉に対する視野を広げることができ、この経験が仕事の上で何らかの成果につながることを確信しております。滅多にできない機会をいただきました。大変ありがとうございました。



▲ヴェルサイユ宮殿「鏡の回廊」にて

編集後記

年の瀬が近づき、慌ただしい時季となりました。今年も皆様には多くの御協力をいただき、ありがとうございました。

来年も、利用者の皆様、地域の皆様方に、安心して利用していただけるよう努めてまいりたいと思います。大掃除などで、忙しい中、少し手を休めて、一年を振り返り、新しい年に、思いを膨らませています。